

# 制作ビデオにテーマ問題開発園見山八野・秦

# 蝶追い、里山保護訴える

二宮町のアマチュア昆虫写真・ビデオ撮影家の御法川直樹さん(54)が、秦野市・P.O.法人市民がつくるTV「蝶追いながら、里山を守る有効な法律がないことや霊園開発で許可に前のめりに見山に生息する国蝶・オナツモリソウの保護にも取り組んできた。」とのサブタイトルを付けた。

## ずさんな行政にも焦点



昆虫撮影家 御法川直樹さん(54)＝二宮

「蝶追いながら、里山を守る有効な法律がないことや霊園開発で許可に前のめりに見山に生息する国蝶・オナツモリソウの保護にも取り組んできた。」とのサブタイトルを付けた。御法川さんはシジミチョウ類の専門家、山梨県の「渡沢丘陵を守る会」の代表や昆虫専門家の武子代表や昆虫専門家にインタビューするとともに、市民の心よりとることとなっている八国見山の自然をとらえた。映像には、ウラボシマダラシジミのAIランク地とされ、環境省から「里地里山保全再生モデル事業地域」に選定されている。御法川さんは自宅から近いこともあって、12年から霊園開発予定地を中心にビデオ撮影してきた。八国見山周辺の自然をテーマとする作品は、今年6月にNPO日本高山植物保護協会の総会で上映した「遠い祖先からの預かりもの」に続いた。【高橋和夫】

## 「東京ビデオフェス」出品

また、林地開発許可の是非を審議した県森林審議会への提出資料に虚偽事項を記載した県のずさんな行政手続きにも焦点を当てた。丹沢山系への「緑の回廊」の心臓部となっている八国見山周辺の保護を訴え、巨大霊園建設反対運動から見

八国見山での大規模霊園開発問題をテーマにしたビデオ作品を作った御法川さん

【高橋和夫】